

令和7年度府中市立府中第三小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

◎児童・生徒の資質・能力を育成するため、教育活動で特に重視する4つの視点
➡ 【発見すること】【対話すること】【決定すること】【表現すること】

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ① 既習の内容を振り返ったり、見通しをもったりして、新たな学習に取り組む姿勢が身に付いている。
- ② 理科の学習に意欲的に取り組む児童が多く、問題解決の過程をある程度意識して授業に取り組んでいる。
- ③ 友達の考えを取り入れながら自己の考えを深めたり、結果を分析・解釈したりできるようにしていく必要がある。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ① 既習事項や生活経験、友達の考えなど、「考えのつながり」に価値を見いだすことができるようにする。
- ② 知識・技能の習得を重視しつつ、互いの考えを比較したり、関連付けたり、日常生活とつなげたりする機会を多く設けるようにする。
- ③ 理科学習の意義や価値をより見出せるよう、問題解決を主軸に理科の授業改善を進めていく。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- ・ 既習の内容や生活経験、友達の考えのつながりに価値を見い出そうとする子。【発見・対話】
- ・ 進んで問題解決に取り組み、友達と協働して取り組もうとする子。【決定・表現】

(2) 目指す授業像

- 思考を揺さぶり、問題意識を高めるような発問を工夫した授業【発見】
- 自分や友達の考えを生かし、次の学習に役立てようと学び方を自己調整する授業【表現】
- 全員参加を目指し、悩んでいる子の思いに寄り添い、励まし合いながら学び合う授業【対話】

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	目的や必要に応じて、文章の中で中心となる言葉や文に着目させたり、その言葉を用いて文章の内容や自分の考えをまとめたりできるようにする。 【発見・決定・表現】	音楽	表現の工夫を考える場を設定し、どのように表現したのかを考えたり、その工夫を試したりできるようにする。【表現・決定】
算数	既習との違いや気づきから問題を設定する活動を充実させ、既習や友達とのつながりに価値を見出し、問題解決を図ることができるようにする。【発見・対話・決定】	図画工作	児童が自己決定できる活動を充実させ、振り返り活動を通し児童が自身の考えの変容や成長を確認できるようにし、学びのスパイラル化を図る。【決定・表現】
社会	単元を通した学習問題を、児童の疑問や調べたいことから設定し、課題解決に向けた探究活動を主とした授業展開を基本とする。【発見・決定・表現】	家庭	一定の手順や段階を追って身に付く技能の習得をするために、グループ活動を取り入れ友達と関わりながら学ぶよさを感じさせるとともに、相手に説明したり教えたりすることでお互いの深い学びにつなげる。【対話】
理科	生活経験や共通体験を通した児童の気付きや疑問から問題を見だし、見通しをもった観察・実験を行い、既習や友達とのつながりの価値を実感し、問題解決の力などの資質・能力を向上していく。【発見・対話】	体育	運動や健康についての自己の課題を見つけ、その解決に向けて、思考し判断するとともに、友達に伝える力を高める。【発見・表現・対話】
生活	具体的な活動や体験を通して自分自身、社会事象、自然事象に気付き、比較や分類、関連付けなどを行い、表現できるようにする。【発見・表現・決定】	外国語	英語を話す場面設定を明確にし、「もっと話したい」という意欲を高め、教師やALT、友達と進んでコミュニケーションを取れるようにする。【対話】

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

- ・ スライド、スプレッドシートなどのアプリを活用して、自分の考えを表現し、交流する。【表現・対話】
- ・ 思考の過程の記録をして学習後に振り返り、次回の学習に繋げたり、新たな気づきを得たりする。【発見】